

発行所
西蒲原郡
巻町中央公民館
編集人 北川 郡 司
印刷所 北洋印刷株式会社

取上げられた 税の問題

本年度の課税からみた
各町村の現況

そうなることによつて税金が高くなるか低くなるかは町村合併の第一条件であつたらうし、それがために合併促進委員会ではこの問題も含めて慎重にこれと運んで来たと思ふ。昭和三十年度巻町の住民税等がところによつては合併以前より大巾な増であつたり、その反面また著しい減を示したところもあると聞く。この税問題について記者は一日役場を訪れいろいろと伺つてみた。(文責北川)

「今年の税金が合併以前よりも大巾に高くなつたところ又低くなつたところがあつたが、住民税は均一課税だつたでさうね。どうしてそんな差が生じたのでしょうか。」
「合併以前に比べて、増減の甚だしいといふことは確かです。しかし税率が一方には高く又一方には低いといふことはないわけで、結局今迄の旧町村での立地条件とか生活状況によつて、それぞれ違つた税率だつたものが、今度新しい巻町の税率との差がこのように表われて来た訳です。」
「特に増減の著しい宇漆山と角田の内容について説明願えないでしょうか。」
「漆山の増になつた一番大きい原因はやはり税の基準ですね。旧漆山当時は非常に財政が豊かでも云いましよるか或はまた大きな事業が少なかつたとも云えますが他の地域に比較して税率が低かつたこと、それに米価による農家の所得が増えたことと今迄は供米奨励金が課税外におかれていたものが今度税の対象となつて来たことなど大きな原因です。ね、御承知のように漆山はこの町での穀倉とも云われるくらい水田の多いところですし、また角田の場合も全くこれと反対に税法によるギリギリの最高の税率が今迄角田に於ては課せられていたこと、その外、扶養、保険等

の控除額などは他と比較にならぬものであつたし、その他雑控除は全然認められてなかつたんですね、云えかえれば取れるものを最高に取らねばならな

| | 巻 | 漆山 | 峰岡 | 松野尾 | 角田 | 浦浜 | 特別徴収 | 合計 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|------------|
| 30年度町税 | 9,875,321 | 8,125,022 | 3,637,706 | 1,865,918 | 392,088 | 42,197 | 3,851,375 | 27,771,627 |
| 29年度町税 | 8,935,108 | 5,320,350 | 4,414,439 | 2,232,920 | 1,444,800 | 145,083 | 2,638,798 | 25,131,518 |

つた旧角田村はめぐまれないなかつた村とも云われます。
「財政が豊かで比較的税率が低く、農家の多い漆山と最高の税率と他町村並に控除すら許されなかつた角田です。から均一課税による新しい巻町での税率を漆山は遙かに上廻つたため増です。角田はそれと逆に大巾な減となつたわけですね。」
「何かこれに関係したこともありませんか。」
「では最後に一言だけ」

町議会だより

巻町定例町会第三日は一日午前九時から巻小学校図書館に於て開会された。
この日直ちに去る二十二日開会以来賦課率の問題となり決らなかつた国保賦課率の問題となり決らなかつた国保賦課率改定案の審議をした。
原案(均一賦課)賛否両論が激しく対立、ついに表決により決定することになり、その結果十五対十で原案を否決した。直ちに提出された試案「三十年一月より五月迄の実績」原案五〇%実績五〇%の両案をめぐり慎重に討論の上「原案五〇%実績五〇%」を表決の結果十三対十二で可決した。
この間の問題について二十二日特別委員会をつくり同案を附託されていたもので二十七日特別委員会を開き検討された。引きつゞき六月二十九日協議会に於て特別委員会の報告にもとずき協議され結論を得ず一日の本会議に持越されたものである。

時より巻町中央公民館に於て開かれ、本年度事業方針など話あつたが取りあへず社会教育関係団体の実態を調査することとした。
尙正副委員長については委員中より選衛委員をあげ話合の結果、委員長に樋口弘雄委員、副委員長に樋浦直衛委員がそれぞれ選ばれた。
七月定例委員会は十一日午前九時より巻町中央公民館に於て開かれた。
入徳館小学校老朽校舎舎移築の件
入徳館小学校老朽校舎を公民館に転用することを以て平屋建に設計されたが地元民の働きかけにより二階建として不足経費について地元寄附による設計変更を認めた。
○教育予算削減に関する件
○教育予算追加に関する件
越前小学校新築に伴う追加予算、漆山小学校増築に伴う予算、西川町分町地域(鏡郷五カ部落)の小中学生受入に伴う追加予算、学校宿直料、竹野町及び松野尾小学校八十周年記念施行並びに合併による公民館費追加等

この問題についていろいろ取り沙汰されているようですが、只今の説明の通りでありまして、二万八千の巻町民が描いた新町五カ年計画に向つて動き出した第一年度でありました。今年度の成果は今後大きく響くとも考えられますので旧町村民が夫々の地域意識を一つして大巻町の建設に御協力願いたいと思ひます。」
大変お忙しい処お邪魔いたしました。



▼対症療法というものがあつて、熱が出る、熱が解熱剤を与えれば痛めば痛み止めを注射するだけで、病気の本体には余り影響を与えないような治療法のことをいふのだ。それである。▼われわれの仕事にも案外こうしたことがある。▼例えは公民館が共同目標として何年もとりあげ、今年も結局それに決つたという一時間厳守運動もこの対症療法に類するものかも知れない。▼だとして時間を守らないという症状を表す病気が、一体何なのであろうか、一日も早くその病原をえぐり出して手術かペンシリンで治してしまいたいものである。▼しかしそれが分るまでは、やはりただ腕を拱いてるだけではない、一寸でもよくなるようにピラを張つたり、標語を募集したりしなければならぬ。そしてまた運がよければこれだけでも治るかも知れないのだ。▼しかしこの生活の病原を見つめるのは、近頃調査活動をやり出した青年団の青年学級であるかも知れないと大いに希望しているものである。

新しく合併した 五カ部落の沿革

住民投票を行い、巻町合併希望が投票総数の三分の二以上となった場合これを認めるの条件を附して西川町にいつた巻町五カ部落のうち大部を合併して西川町にいつた巻町五カ部落の合併が成立し、この結果中郷屋、羽田、割前、東汰上、面積二、四平方料

往昔の沿革不明、峰岡藩主牧野氏の所領にして竹野町と称した。慶應以降新編の管轄となる。明治十二年郡区編成に当り西蒲原郡に属す。明治二十二年町村制施行の際西蒲原郡に属す。明治二十二年町村制施行の際西蒲原郡に属す。明治二十二年町村制施行の際西蒲原郡に属す。

大宇 羽田、中郷屋、東汰上、割前、面積二、四平方料

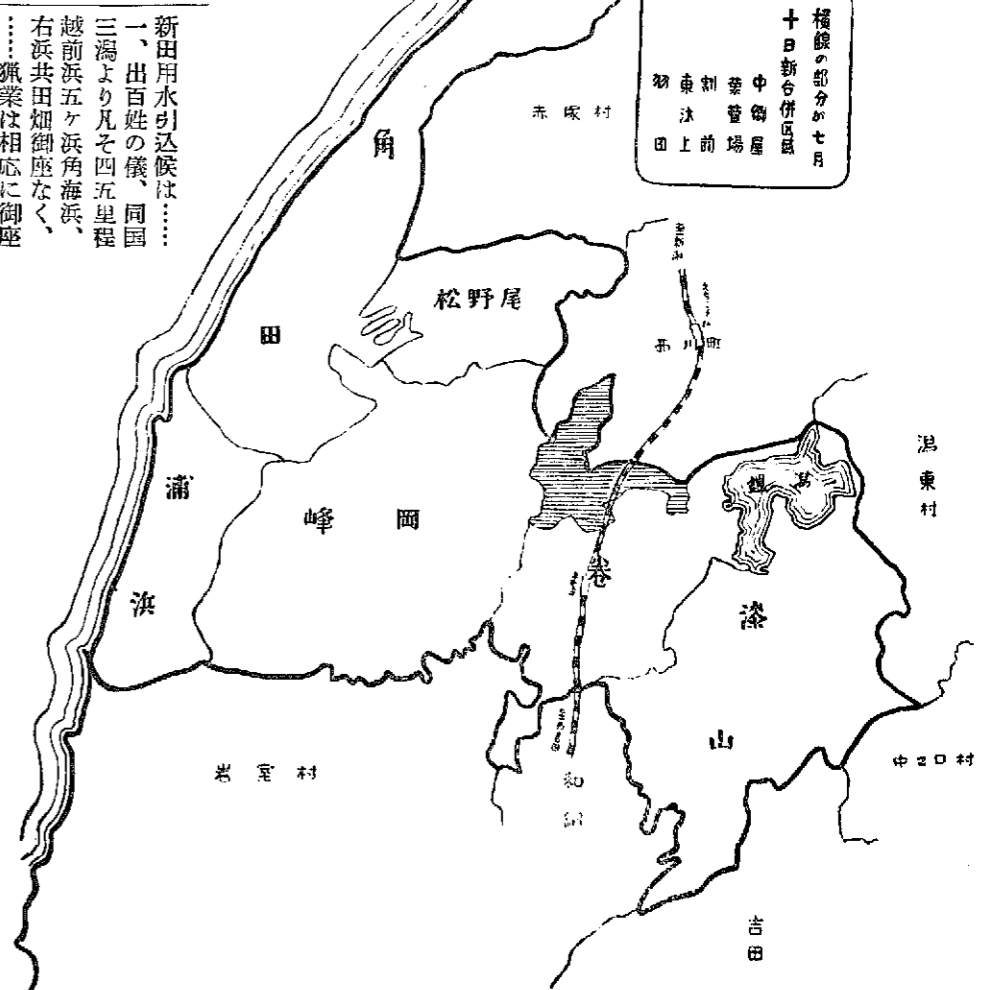
明治元年新編西蒲原郡の所轄となつたが同年十月越後府(水原町)の所轄となる。次いで出雲崎民政支局に改まり同年十一月月曾根出張所となる。明治三年にも三月に新編の所轄に移り同年十一月三條局の支配となる。明治四年一月新編の所轄に属した。明治十二年郡区改正の際西蒲原郡に属し、同二十二年天竺堂、真田、中郷屋等と合して巻町と称し明治三十四年再び西川町と合して巻町と称す。

一、三男対策

拔書・聞書・覚書

この度願い上げ奉り候三瀧より、西に當り、道法三三町或は一里又は一里半ほど、西川と申し、川幅二十四五間より凡そ三三間程、田湯より東に當り、中の口川と申し、川幅二十間余。道法凡そ同儀、右三瀧左右の兩川より

新田用水引込候は……一、出百姓の儀、同国三瀧より凡そ四五里程越前浜五ヶ浜角海浜、右浜共田畑御座なく、……狹業は相応に御座候えども、自然渡世薄くまかりなり、難儀仕候に付、新開場所御成候はば、出百姓相願い申上り候者、三瀧の所にて凡そ三百人程の候者、又は瀧縁も願ひ候者、又三瀧より間余。道法凡そ同儀、右三瀧左右の兩川より



長い間、巻組瀧前九ヶ村(寺瀧、漆山、山島、柿島、川井、巻、葉堂、中郷屋、真田)として苦勞を共にしてきた仲間が、今度また眞田を残してみんなの願ひを成して、再度出てきた。感また無量と

前にもいつたようにこの様な願書が次から次へと出されたらしが現在、中郷屋、羽田、割前、東汰上、面積二、四平方料の五カ部落の合併が成立し、この結果中郷屋、羽田、割前、東汰上、面積二、四平方料

時間勵行五年余 会議もてまばさ

漆山地区並木部落の成果

集會時間の勵行については機会あるごとに……

勿体ないことであるが、集會時間の勵行を……

漆山地区並木部落の成果……

初心者を歓迎

デッサン研究会

「……絵画の筆を……」

デッサン研究会……

巻ケラブ

本県軟式野球界の雄……

巻ケラブ……

漆山青年団

文化部の動き……

漆山青年団……

巻町青年團

町村合併にさきがけ……

巻町青年團……

郡婦人会

去る七月三日黒崎中……

郡婦人会……

原稿募集

町民の……

原稿募集……

梅雨



浜松中学校三年……

梅雨……

若い者がどうして脳溢血でたおれるか

(近藤博士の講演をきいて)

田中 高次

琵琶湖のほとり滋賀県のある村と、石川県能登半島のある村では女がずばぬけて長寿率が高い、前者は昔しかから貧富貴賤の別なし、嫁入り前の若い娘さんは必ず京、大阪に奉公に出されていた。後者は他と比べ特に封建的で仏教が盛んで男尊女卑の念が強く婦人の地位が甚だしく低く物嫌いを極端にきらつてい

る。このことと長生きとどんな関係があるかというに、前者は他人の飯を食べることによつてわがまが出来ず三度の食事も好き嫌いをいわないで何でも食べねばならない。後者は封建的家族制から嫁が食事をしない、好き嫌いを残す物でも何でも食べている。こうした食習慣が女をして長生きさせている……これは去る六月十九日新潟大学医学部講堂で行われた、第三回東北学校保健学会で東北大学の近藤教授の「食習慣と健康長寿」という講

演のレコマである。このごろ四十、五十の若いものが脳溢血で倒れるのがめだつて多くなつた。これは米ばかり大食する食習慣の米作地帯に多い。秋田、山形、青森、新潟の米作地帯はその好例で日本一短命地帯である。人口に対する長寿者(満七〇才以上)の率は全国平均二、七%であるが鳥取、島根、高知、徳島は四%以上で日本一の長寿県である。これらの地帯は必ず魚か大豆、野菜を十分に食べ、海苔常食の村では脳溢血が少く長寿者が多い。酒については「酒のみ短命」は誤りだと博士は指摘された。日本一の酒のみ県は西の横網は高知で東の横網は秋田である、しかも皮

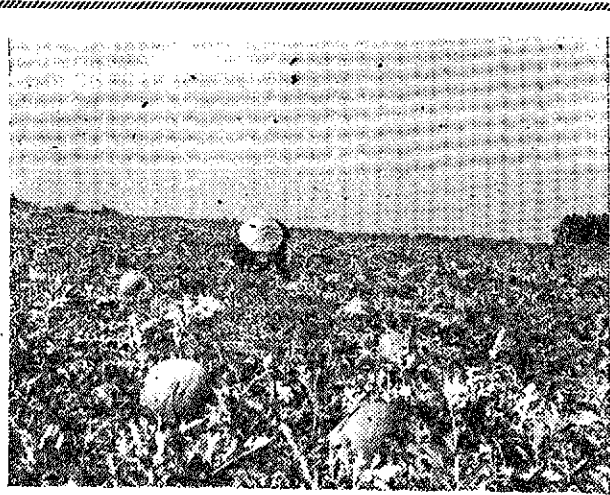
肉にも高知県は日本一の長寿県であるのに秋田県は日本一の短命県である。両県とも脳溢血が多いが秋田は若い中に、高知は大部分が七十を越えてからだといふ。又博士の調査では全国八十才以上の人でその八割までが若い時から大の酒好きで毎日一、二合飲まないといふ人がすまないという人たちがあつた。酒好であれば適量にとることによつて長生きできることがわかる。

要するに健康長寿と食習慣は密接な関係がある。米偏食一升飯を

梅雨の蜘蛛
齋藤 青
蝶の頭を掴みひきずる梅雨の蜘蛛
青白き疾風に飛ぶ青田の朝
青田野の虹の根濃くて世醜し
雷による鷹梅雨晴れの海をみて
童女追う蟹まぎるる銀河濃し
自慢とする越後平場農
村地帯の私たちにとつ
ては大きな警鐘だとい
える。
(七一〇記 巻町
社会教育委員)

巻町の夏まつり
二尺玉もあがる
恒例の巻神明宮大祭に始まり十五、十六日は来る十四日の前夜祭の三日間に亘り行われ

る。今年は特に旧鎧郷南部五カ字の合併もあつて賑わいが予想される。主なる行事は、郷土民謡、合併祝賀式、小中学生及近郷青年相撲大会、生花展覧会等のほか二尺玉を始め数日発が打場げられる花火大会その他巻町の名物山車数台が予定され近年にない祭典が繰り展げられる。



砂丘の風物

角田西瓜みのる

わが国の風土では、モノイミする乙女のイメージがあると共に、農の生命である水の豊かならんことを祈る。

多分に農耕の儀礼の一節として伝えられて来た星祭は、今年、コヌカの様な雨が降りしきる中で迎えた。やがて今日このごろ、青空にくつきりと巨人の様に立ちのぼつた夏雲のたゞずまい、青田をそよぐ風も熱気をおびている。

町の夏祭も近づいて、店舖は準備に忙しなく、早くも夏季泰園の王者西瓜もほつぽつ出まわつた。角田砂丘の西瓜も、梅雨を無事こして、葉間に丸々と肥えて来た。昨年、関東、関西の不作によつて、一躍市価を高めただけに、今年は、作付面積も増大し、曾て桃にかわつて、農家の生計をうるおす主要なものとなつてしまつた。しかも、毒消娘のムラと

巻町中央青年学級
去る四月開設された中央青年学級は今月も来る二十日午前十時より巻町中央公民館に於



て開く。当日の学習内容は、青年学級と調査活動との二回目と共同学習の進め方スライドと討論等での他レクリエーションを予定している。講師は原教育研究所の日浦儀一郎先生である。

編集後記
町村合併の第一条件が税の高い低いによつて決まるとも言われた昭和三十年度巻町の民税がこの程決定した。二万八千巻町民が描いた町村合併の意義は合併一年目の本年にかかつていとも申せましよう。巻町の発展はやがては私達の生活にプラスして行くことだと思ふ。町の施策を重視しそして理解の上にとつた協力こそ望まれる。私達の手で自らの幸福を克ちたいものである。

館報七号から次の方々に編集をお願いし館報の編集、取材、御意見などいただくことになつた。